

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三菱ケミカル株式会社 首都圏ロジ	階数	地上4F
建設地	埼玉県加須市古川	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	20 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2018年1月15日
敷地面積	10,433 m ²	作成者	鈴木教悦
建築面積	2,022 m ²	確認日	2018年1月15日
延床面積	5,963 m ²	確認者	高田親志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.6

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
埼玉県加須市に計画された倉庫である。 敷地内の緑化に努めて屋外環境に配慮している。	・特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・特になし	・階高の確保等による建物の持続性に配慮。	・敷地内緑化により、緑の量の確保に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・特になし	・躯体と仕上げの分別が容易なLGS工法を採用し、部材の再利用可能性向上に配慮。	・敷地内緑化により、温熱環境悪化の改善に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される